

経営比較分析表（令和2年度決算）

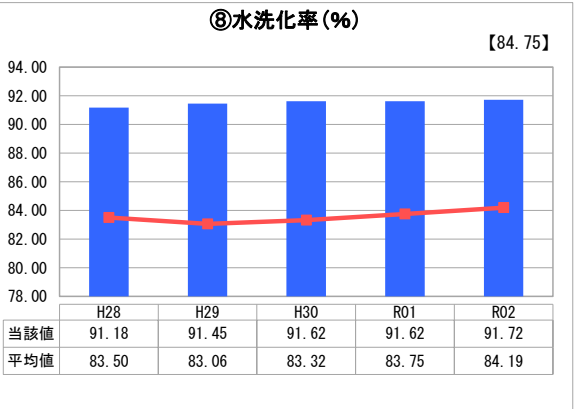
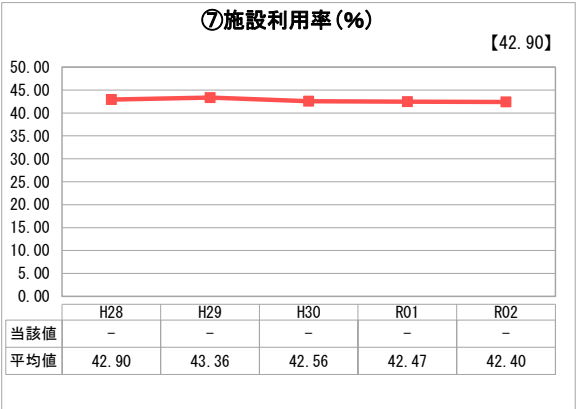
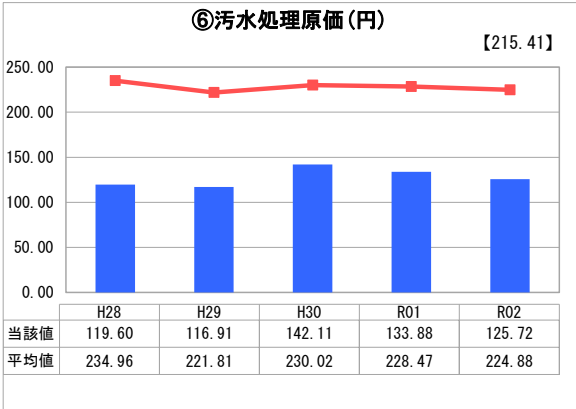
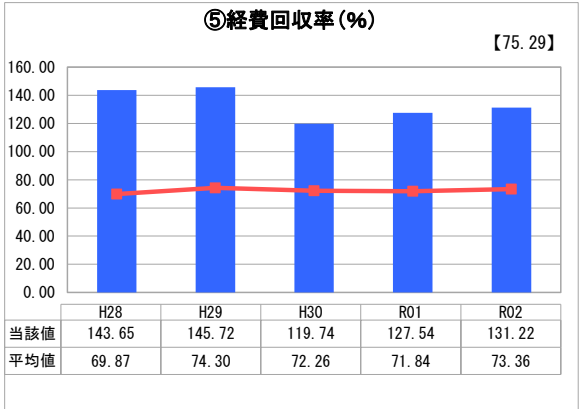
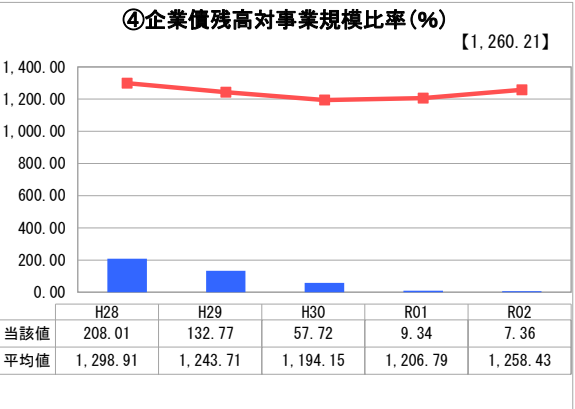
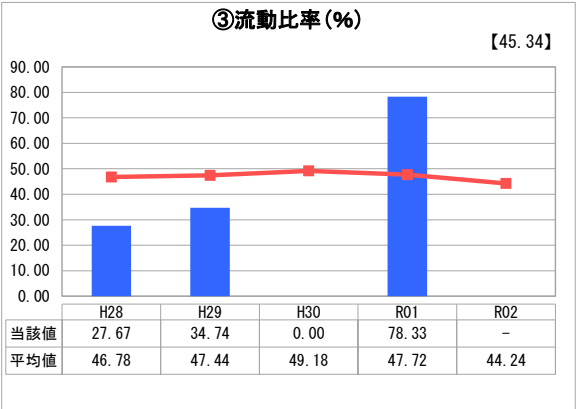
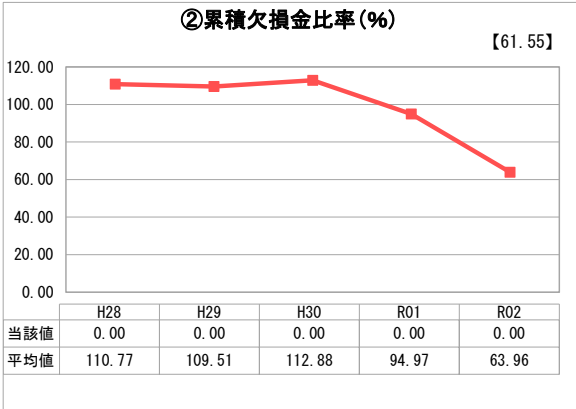
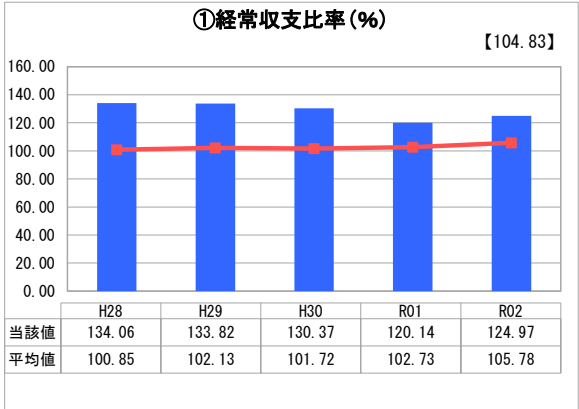
埼玉県 日高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	99.23	1.66	85.56	2,761

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
55,294	47.48	1,164.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
918	0.32	2,868.75

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支は黒字が続いており、経営状況は安定しています。
②累積欠損金は発生していません。
③当市の特定環境保全公共下水道は、公共下水道に接続されており、流動資産はすべて公共下水道としています。公共下水道との合算値では85.46%と、100%未満であったため、引き続き中期的な企業債償還額を念頭に、維持管理費の縮減等、経営の改善に努めていきます。
④令和4年度には企業債の償還が終了する予定であり、当該数値は良好になる見込みです。
⑤当市の特定環境保全公共下水道は、公共下水道に接続されており、単独で終末処理場を有していないため、経費回収率は高い数値となっています。
⑥当市の特定環境保全公共下水道は、公共下水道に接続されており、単独で終末処理場を有していないため、平均値と比較して低い数値となっています。
⑦当市の特定環境保全公共下水道は、公共下水道に接続されており、単独で終末処理場を有していません。
⑧平均と比較すると、高い水準にありますが、引き続き未接続家屋に普及推進を努めていきます。

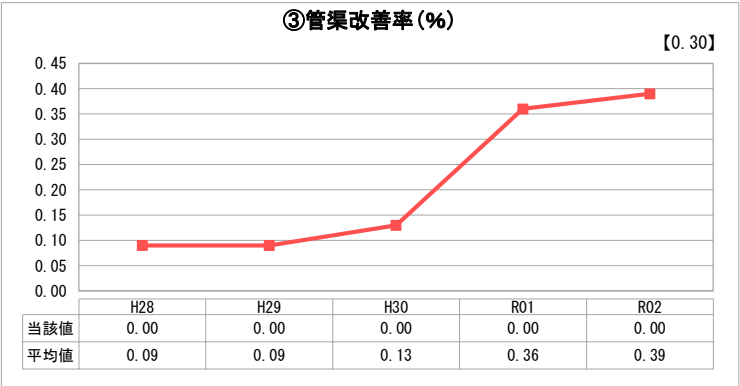
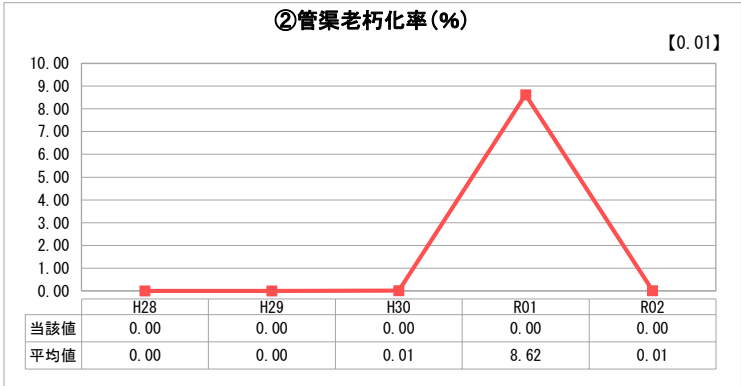
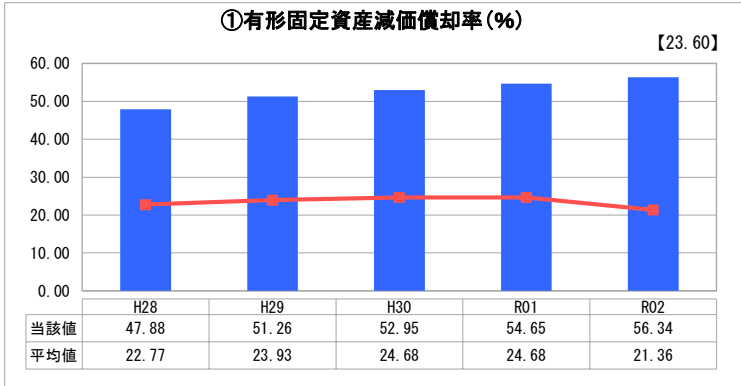
2. 老朽化の状況について

①特定環境保全公共下水道は、平成4年の供用開始から28年経過し、管渠については法定耐用年数の半分以上を経過しているため、平均値に比べ、高い数値となっています。
②法定耐用年数を超えた管渠はありませんが、今後予定されている管渠の更新を見据え、点検等を計画的に行います。
③今後発生する管渠の更新工事については、費用対効果を検証し、効率的に実施していく予定です。

全体総括

当市の特定環境保全公共下水道は、公共下水道の終末処理場に接続されていることから、他団体と比較すると維持管理費は低い数値となっています。そのため、経営指標は良好であり、経営状況は安定しています。
今後も普及促進を図ることで使用料収入を確保し、施設の効率的な維持管理に努めていきます。

2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。